

★ まちづくり ニュース



ホームページ

<https://tokiwadai.net/>

273号

2024年11月29日



常盤台の景観を守る会
常盤台まちづくり委員会

事務局 島田晴子 tel・fax 3960 - 3869

— 都心低空飛行問題について —

○ 羽田空港衝突事故から1年

今年の正月は能登半島の地震だけでなく羽田空港で旅客機と海上保安庁機の衝突炎上事故にびっくりしたものでした。

空港では航空機が誤進入の場合など、管制官への注意喚起システムとして、モニター上の機体や滑走路の色が変わる機能に加えて、音で異常を知らせる機能を追加したそうです。管制官の増員などと共に一層の安全が求められています。

○ 固定化回避検討会年内開催か

存在感の薄い固定化回避検討会だが、クリスマス前後には開かれる見込み。早く元の海から海へ戻すよう真摯に検討してほしい。

○ ギャラリー服部 12月展示予定

- ・ハワイアンキルト作品展
11月28日～12月3日
- ・山下清展
12月5日～12月10日
- ・ありめせつことクリスマスキャロルを歌う会
12月11日(要予約)
- ・日本画 奥山忠展
12月12日～12月17日
- ・ギャラリー所蔵展
12月19日～12月24日



○ 「常盤台住宅地地図」付 常盤台写真場の思い出」の展示 終了

10月31日(木)～11月12日(火)にギャラリー服部で行いました。昔からの住民の変遷を物語る地図を興味深く見てもらいました。

「あった！わたし、ここで生まれたんです」とある女性が喜びの声を上げ、スマホで撮って行きました。線路脇の産科医院、少子化の影響で常盤台から産婦人科が徐々に姿を消していましたが、親から聞いているだけでどこにあったか分らなかったのだそうです。この展示をして一番良かったと思ったことでした。

古い地図に実家の名前を確認して安堵している車椅子のお年寄りもいました。

江戸東京建物園発行のパンフレット「街に写真館があったころ～常盤台写真場と昭和モダン～」60部も全部無くなりました。

「写真が語る激動の1世紀 板橋区のいまむかし」の方は2,200円で残部があります。

○ 常盤台写真場の閉館と思い出

同時に田中写真館と言う名でもお馴染みの常盤台写真場についての展示も行いました。

皆さん、廃業と聞いて驚いていました。

初代田中藤二郎さんのお孫さんも何人か見えて、興味深く家族写真を見ていました。

江戸東京建物園で常盤台の建物があることにびっくりする人も多いようです。商店の建物など保存に工夫がされていて、ゆっくり回ると一日経ってしまいそうな面白い場所です。お天気の好い日に遠足なさることをお勧めします。

常盤台→池袋→新宿→武蔵小金井→小金井公園 または高田馬場で西武新宿線に乗り換えて花小金井からバスのルートもあり、1時間～1時間15分で700円ぐらいで行けます。

樹木と都市

常盤台のみどり

最近の話題に神宮外苑の再開発と樹木伐採が取り上げられます。大規模な伐採計画に各方面から反対の声が上がっています。にも関わらず、再開発業者は伐採を強行しようとしているようです。

都市に存在する木としてはある程度管理されていることが必要ですが、それも程度問題でしょう。常盤台にはプロムナードというほぼ街を一周する並木道があり、プラタナスとマロニエが植えられています。

並木道に面した家はその落葉の掃除に苦労しているようです。毎朝落葉を掃くのも高齢の方にとって大変な事なのはよく解りませぬ。しかしある箇所では秋になる前に勝手に枝下ろしをしてしまい、まるでマツチ棒のような格好にされてしまっています。街路樹はビッグモーターの例にあつたように公共の物なので器物損壊に当たり、勝手に切ったり取ったりしてはならないのです。

この異常な酷暑、日陰を作ってくれる樹木に救われています。酸素の供給源であると共に、地球温暖化を少しでも削減してくれる樹木なのに、細分化が進む常盤台では庭木が減少し、生け垣も少なくなりました。しゃれ街協議会がせめて接道面だけでも緑をと頑張っています。少しでもみどりを取り戻すには公共の場所に樹木を増やす努力が必要です。板橋区の標語は「未来をはぐくむ緑と文化のかがやくまち」でしたかね？

源氏物語ってこんなの？

NHKの大河ドラマ「光る君へ」は面白いでしょうか？ 数人で月1回の読書会でも、源氏物語をドラマと平行して読んで行くこうと楽しみにしていました。が、幻滅が続いたせいか今は誰もドラマを見ていません。あれはあれで面白い設定になっていくのかも知れませんが、一応歴史的考証はどうなっているのかと疑ってしまいます。

また、配役もがっかりで、一番幻滅だったのは藤原実資でした。あんなに太った実資には時の権力に唯一対抗した小右記の著者の謹厳な面影はなく、芝居がうまければそれでも許せるのですが……道長はもつと憎々しく且つ人たらしの狡猾さがほしい。一条天皇はきれいで良かったが隆家はもつと遅しかったはず、紫式部にいたっては脚本家自身の投影があるような……と挙げれば切りが無いのですが、安倍晴明のとらえ方にだけは拍手しました。

じゅん散歩

十一月十八日から二十二日まで、池袋・大山・上板橋・中板橋・常盤台を高田純二が散歩する朝八時からのテレビ朝5チャンネル「じゅん散歩」が放送されました。こういう番組に公平さとか標準とか期待するのが間違いなのです。見た人達が異口同音に言ったのが、あれは前野町だったよ！でした。唯一丁寧に時間を掛けて紹介していたのが前野町のお店だったのです。常盤台というので、興味津々だったのに、見事に外れてしまいました。

常盤台公園のはなづくり

常盤台公園に今二株の皇帝ダリアがあります。一つは二丁目のHさんから一昨年頂いた三株のうち生き残っていたもので池の近くにありますが、最近根元から折れて倒れていました。添木をして辛うじて立っています。もう一つも今年Hさんから譲られた苗で、二本あつたうちの一本です。こちらも倒れそうになって慌てて柵に結びつけました。両方とも花芽は出ていません。

親元のHさんの庭ではきれいな花がもう咲いているのが塀越しに見えるので、公園では今年も咲かないのかも知れないと私たちは若干心配しています。

キツチヨウソウ（吉兆草）をご存知でしょうか。日陰に強い下草で、今頃は根元に可愛いピンクの花を付けますが、あまりに控えめに咲くので気が付かない人が多いと思います。Kさんの庭に沢山生えていたので公園の北側のフッキソウと並べておめでたい名前同士で植えました。ギャラリイ服部の塀際が地面むき出しだったのでそこにも植えそこでは大繁栄していました。公園のは子供たちが踏み荒らして無くなってしまう、Kさんの所でもアジュガや茗荷に押されて滅亡したらしいので、ギャラリイにお願いして里帰りさせることにしました。公園ではまたどうせ踏まれてしまうだろうとノッポさんが皮肉っています……

